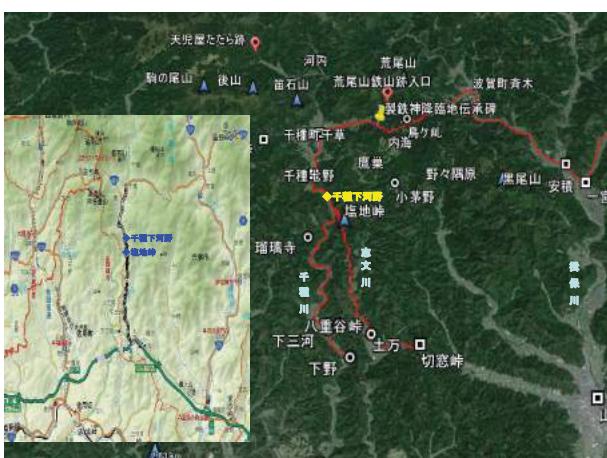






1. 山崎と千種・佐用の境切窓峠を越えて
深い山間佐用下三河から千種川を遡って千種へ遡る







下河野の郷 握り返ると 千種川の谷筋には 斜面に広がる緑の段々畠 いつもても気持ちのいい 千種の景色



千種川本流と東から合流する岩野辺川合流点を開けたこの地域の中心 千種の街 2016.7.20. 10:33



七哥の郷に入ると風景がひらけ、磐石山から後山・馬の尾山へと続く千種川の西岸の山並みを パックに千種の街が遠望される 2016.7.11. 10:32

2. 千種から西へ国道429号 岩野辺川に沿う谷筋を岩野辺荒尾 荒尾山鉄山遺跡へ



千種から北へ走る国道429号線が奥ヶ谷を越えて、佐久川が流れ下る多賀町へ至っている。後に地蔵松山から荒尾山・烏ヶ岳の山並みが望めなり、南には黒尾山の北側に延びるなだらかな丘陵地帯に挟まれた広い谷筋を駆け上り岩野辺川が流れ下る。この山深い谷筋の両側の山中に古いたたら跡のあるたたらの跡が点在する古くからの農耕地千種のたたら鉄跡地帯である。この岩野辺川沿いの河岸段丘の田園地帯には、かつて岩動の名だった岩野辺の小さな集落がある。その一番奥、荒尾山の麓烏ヶ岳の神道にかかるところに岩野辺荒尾集落があり、この国道429号の集落への入り口のところに、「古代製鉄神 金屋子神伝承の地」碑が建っている。この国道の北、荒尾山中の谷筋に広がる荒尾集落の奥に目指す江戸中期から明治の初めにかけて、大坂足場が作られた荒尾鐵山路が今も残っている。資料や天保屋たちらの内等で何度も概要を読んだことはあるのですが、今もこのたたら跡の山は私有地でさうり調査されていないと聞く。

千種を訪れたたびに、帰りに必ず走る国道429号。

「古代製鉄神 金屋子神伝承の地」の碑や荒尾集落入口にある「荒尾山鉄山道路跡」の案内標識を眺めるのですが、荒尾山のたたら跡に足を踏み入れたことはなく、今回が初めて。

興味本位で岩野辺川沿いに広がる岩野辺集落の田園風景を楽しみながら千種から東へ。



千種から西へ国道429号標要図 岩野辺川に沿う谷筋を岩野辺荒尾 荒尾山鉄山遺跡へ



千種から西へ国道429号 千草で 正面に地蔵松山が見える 2016.7.20. 10:40



千種から西へ国道429号 千草で 岩野辺川に沿う谷筋を岩野辺荒尾 荒尾山鉄山遺跡へ 10:39



千種の街から 国道429号を東へ 岩野辺地区に入る 2016.7.20. 10:43

千種の周辺には「乱」とつく地名がいくつも残っており、接続や尾根を越える「峠」の意味でつかわれている







荒尾の集落を抜けさらに奥へ林道に行く 2016.7.20.
金網柵から入ってすぐ 林道わ志の原台に立派に整備された荒尾家の墓の基がありました。
この土からの趣 そして林道の奥に広がるが荒尾の山々一帯も代々荒尾家によって 守られてきたのだろう



地元の人たちによって建てられた案内板が造つ荒尾川沿いの荒尾山鉄山跡への入口 2016.7.20.



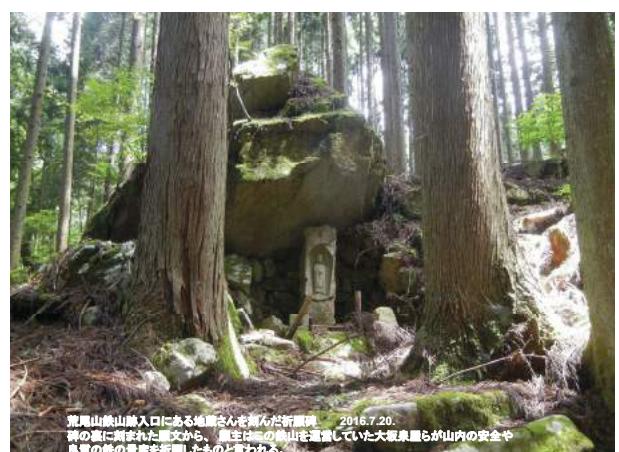
杉林の中 荒尾川に沿う林道を少し登ると林道が左へカーブする角に看板が立っているのが見える
この場所が、案内板のある道を右荒尾山駅山への入口である 2016.7.20.



荒尾鉄山遺跡



吉野川沿いのまちのまちに吉野山熊山駅への入口が在ります。2016年7月



荒尾山鉄山跡入口にある地蔵さんは掘んだ祈願碑 2016.7.20.
碑の裏に刻まれた原文から、**黒主けに**の鉄山を運営していた大阪東屋らが山内の安全や
良縁の供の骨走を祈願したとの言われる。



“The world is full of art, but it is empty of beauty.”







荒尾山鉄山跡 中央道 2016.7.20.



荒尾山鉄山跡 入口周辺を流れ下る荒尾川 2016.7.20.



荒尾山鉄山跡 通路の左奥を下る荒尾川に沿って 2016.7.20.



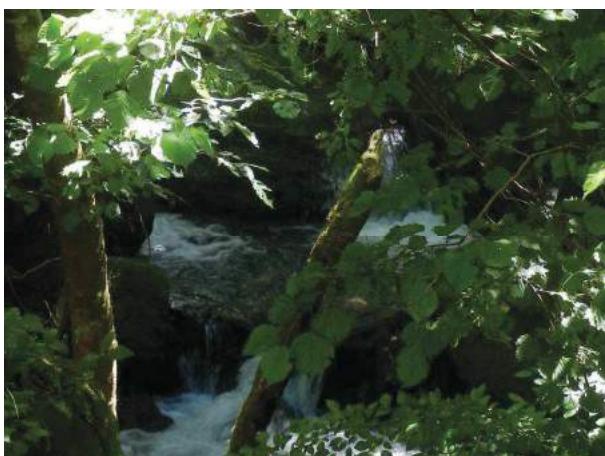
荒尾山鉄山跡を後にもと来た林道を見る 2016.7.20. 12:06



杉木立の中の林道を見る 2016.7.20.



林道入口に戻って 荒尾川川の木道に入って 川音を聞きながら昼食に 12:10



ずっと気になっていた古代製鉄神 金星子神降臨の伝承地「岩鍋」にある製鉄遺跡「荒尾山鉄山跡」
生まれた時代は古代からずっと後の江戸中期頃から明治初めの製鉄遺跡であるが、「岩鍋」の地のどんなところで 鉄が吹かれたのか? 岩鍋津々でした。

緑に包まれた静い谷川が流れる荒尾山の山中の杉林の中に、ひそり静かに鉄山跡の石組みが埋もれていました。本当に久しぶりに見る緑の中にうすもれたたら跡 心地よい空間でした。

案内板には石組みで区切られた鉄山の諸施設の位置と区割りが示されていますが、石組みの台地の上には開伐された杉の木や葉が覆われたり、生い茂る樹木で埋められ、施設の痕跡を見ることはできませんでした。

⑤ ただ、あらこちら石組みの上を歩き回って、地面に落ちていた鉄スラグなどの小片を幾つが見つけることができました。

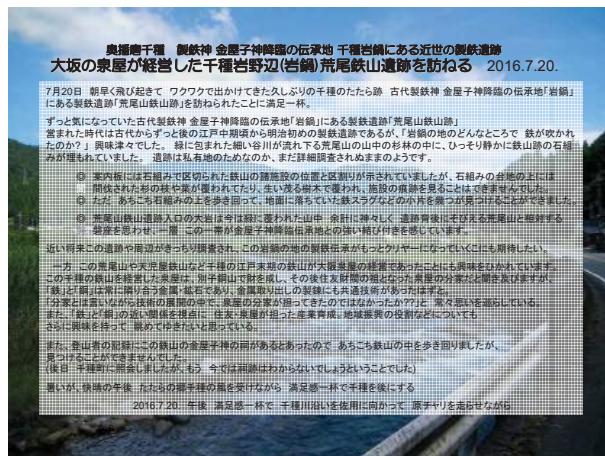
荒尾山鉄山遺跡入口の大岩は今は緑に覆われた山中 余計に神々しく
遺跡背後にそびえる荒尾山と対する岩峰を思わず、
一層 この一帯が金星子神降臨伝承地との縁い続ひを感じました。

また、登山者の記録にこの鉄山の金星子神の祠があるとあったので、あちら鉄山の中を歩き回りましたが、第2回はまだませんでした。(次日 千種町に登会しましたが、もう今日は祠跡はわからなくてどうぞでした)



集落の背後に荒尾山がそびえる荒尾集落に戻ってくる 2016.7.20. 12:50





參考資料

- 鳥羽弘毅氏著「たたらと村 千草鉄とその闇辺」1997.3.10.千種町教育委員会

2.【和鉄の道・Iron Road】 by Mutsu Nakanishi 西播磨の古代製鐵地帯 究央・佐用の製鐵路線跡探し 探訪

 - 古代の大王国 備後國「千種鉄」岩崎、古大鉄製 鎌子屋 降臨伝承の地
<http://www.infokkoma.com/orionroad/doc/iron/rockin101.pdf>
 - 久しぶりに西播磨 古代から続く製鐵の穴! 大阪市北区で探訪する
千種町見附山へたたら鉄、古時代製鐵発祥の地の跡を訪ねる
<http://www.infokkoma.com/orionroad/rockin102.pdf>
 - 奥出雲町へとくわくわ川流域、たたらの郷 兼石町小野町(こうのがい)集落を訪ねる
<http://www.infokkoma.com/orionroad/rockin103.pdf>
 - たたらの郷に「吉田村」の花園を訪ねる 2009.6.21.
奥殿庭山と山西山と山並、宍粟市吉田町 藤原駅 大和牧場 花のWalk
<http://www.infokkoma.com/orionroad/doc/gijitani/gijitani107.pdf>
 - たたらの郷 砂鉄採掘の地 西播磨 岐尾峰山 壓延山一面土スケが黒いつです 岐尾高原 2007.6.20.
<http://www.infokkoma.com/orionroad/doc/iron/iron118.pdf>
 - 産業の地「吉方里」の花園を訪ねて 一宮町 2004.6.
<http://www.infokkoma.com/orionroad/doc/giwakuri/giwakuri10.pdf>
 - 「吉方里」山麓へとくわくわ山製鐵遺跡訪ねる 一宮町 2004.2.
<http://www.infokkoma.com/orionroad/doc/giwakuri/giwakuri07.pdf>
 - 古代製鐵的一大本山地! 蔿原山の里! Walk 薩摩川原、佐用町 大熊山製鐵遺跡を訪ねて 2003.10.1.
<http://www.infokkoma.com/orionroad/doc/koiroki/koiroki01.pdf>

